

安岡正篤講話録 人間の本質

～古来聞き難きは道なり～

-
- 税込価格／20,520円（本体価格19,000円）
 - 構成／CD3枚
 - 付属品／副読本（280ページ）
 - 収録時間／1枚66～70分
-



【解説】

「人間は本質的に光を求め、闇を嫌う——
人間というものは明るくなければならん」

知識を偏重し、功利を追求する現代の日本人。その姿を憂い、精神革命の必要性を訴え続けたのが、東洋思想の碩学・安岡正篤氏でした。その言葉は温かさ、深さに満ちながら、今なお私たちに内省と人生の道標を与えてくれているのです。

本CD集は、日本のトップリーダーたちに師と仰がれた安岡正篤氏の講話録・第二作として、混迷の現代を生きるリーダーの皆様にお聴きいただきたい内容を厳選して収録しています。

- <特長1> ヒューマニズムの回復を訴えた安岡正篤氏の名講義を肉声で収録。
- <特長2> 父子の道、師友の道、教育の根本を解き明かす。
- <特長3> 書籍（活字）で心を耕し、CD（講話）で心を養う。

◆内容の一部紹介◆

「人間の本質」(Disc2より)

……その人がどういう徳性をもっておるか——というと、たとえば人間が自然から生まれつきに与えられておる人間の本質的な要素。まず明暗、光と闇だ。人間は本質的に光を求め、闇を嫌うね。明るいと暗いということは、人間の徳の中でもっとも根本的なものだ。だから、いわゆる道徳的にいっても、人間はまずもって明るくなきゃならん。暗くてはいけない。これは大事なことだ。

皆さんがちょっと考えたらわかるだろう。明るい人と暗い人があるね。人間はどこまでも明るくなきゃならん。暗くてはいけない。これは本質中の本質、根本中の根本の徳だ。だから、我々は常に明るくあろうとしなければならない。どんなに知識や技能があっても、暗い人は、これは安心できない、油断ができない。明るくなきゃならん。暗い気持ちになってはいけない。常に明るい気持ちでおらなきゃ——明暗。……